伽藍再建への道

再建だより （第10号）

第2巻　第5号

平成29年9月20日

臨済宗妙心寺派　圓福寺

再建工事始動

・再建工事の様子
・ご寄付の途中経過
・銀行借入の件（修正予算案・公告・本山への提出書類）

現場事務所の設置（7月22日）

大師堂でご法事をしている後ろでは、現場事務所設置の工事です。慣れているとはいえ、手際の良さに感心させられます。

駐車場のはじに、二階建てのプレハブの現場事務所が建てられました。日曜日以外は、駐車場が使用できなくなりました。お参りにお越しの際は、お気を付け下さい。

目次：

工事の様子	1～5
庭石移設	2
庭・駐車場の解体	3
基礎工事はじまり	5
ご寄付の途中経過	6
伽藍再建修正予算	6
借入のついての公告	7
本山への提出書類	7

再建だよりも10号となりました。これまで、打ち合わせや計画など、机上の内容ばかりでしたが、これからは現場の工事の進み具合をご紹介してまいります。

工事の進捗状況は、逐次ホームページ(裏表紙参照)に公開しておりますので、「再建だより」はそれらをまとめた形になりそうです。

資金計画については、みなさんのご理解ご協力をいただいてご寄付が集まっており、これをもとに役員会で銀行借入の件を決定させていただきました。借入に関しての公告を掲示板に掲示いたしましたが、同じものを今号にも掲載いたしますので、ご確認ください。また、借入決定に伴う修正予算も掲載させていただきます。

庭石移設(7月21日)

【左】駐車場の塀のところからようやく取り出せました。
　この後、一人では持ち上げられないほど重いワイヤーロープを二本掛けて吊り上げます。
　人間と比べると、その大きさがわかります。

【右】クレーン車が足を広げたところを見ると、いかに巨大なクレーンかよくわかります。
　吊り上げられた巨石の左奥に、本堂前にあった石も見えますが、どちらの石も10.5トンだそうです。

　庭のクスノキの大きさとクレーン車の大きさを比較してみてください。その大きさに驚かされます。
　写真で吊り上げられているのは、本堂前にあった石です。

　クスノキの根元に据え付けられた巨石と、本堂西側の庭にあった石。
　巨石以外は、工事の邪魔にならないようにと寄せ集められたものです。庭を作るときにはそれぞれふさわしい場所に配置されることになります。

**　かつて本堂の前と駐車場階段わきにあった巨石は、いずれも近くの民家の方が寄付して下さったものです。**
**　あまりに大きな石なので、普通の家には似つかわしくないとのことで、お寺さんだったらと、運び込んでくれました。**
**　伽藍再建工事に伴って移動を余儀なくされましたが、新しい庭でどんな存在感をみせるのか楽しみです。**

庭・駐車場の解体(7月29日)

今日から、庫裏の前庭や駐車場の塀などの解体が始まりました。

２台の重機で、解体というか、片付けといった方がいいでしょうか。それぞれ役割分担ができていて、あうんの呼吸で手際よく片付けられていきます。

以前、テレビで住まいの片付けの極意を聞いたことであります。それぞれのものに、置き場所というか住所を決めるのだそうです。ものを使ったらすぐに元の住所に戻してやることを習慣化すると、家の中はちらからないと言っていました。

解体工事の様子を見ていると、木の根や枝、ブロック片や石、鉄などの金物類、塩ビパイプなど、それぞれ場所を決めて分別しています。そんな作業の様子を見て、整理術の極意を思い出しました。

看板をおろす(8月4日)

駐車場の道路わきに立っていた圓福寺の看板を下ろしました。

「看板をおろす。」なんて聞こえはよくありませんが、伽藍再建工事で、この場所に山門が建てられることになっています。看板がなくなっても、山門という新たなランドマークができれば、ここにお寺があることは気づいてもらえると思います。また、中央に立っている門柱を再利用して、「寺号石」として山門のわきに立てたらどうかと思っています。

整地作業完了(8月5日)

梅雨空の夕焼け

2017 年 07月 04日

圓福寺トップ / 市原別院 / 梅雨空の夕焼け

圓福寺の仮設寺務所も、再建工事の邪魔になるということで撤去しなければならなくなりました。

で、中で使っていたテーブルなどを市原別院のプレハブにしまうことにし、愛車の軽トラックに積んで、別院に行きました。振り返ると、夕焼けがきれいでした。

テーブル片付けの前に、鐘つき堂の方に歩いて行って、写メを撮りました。夕日をバックにした鐘つき堂のシルエットがきれいです。

テーブル片付けを終えて、畑に行くと、食べごろのナスがゴロゴロ！収穫を終えると、すでに夕暮れ。これで仕事が終わりだったら、一日の締めくくりにふさわしいのですが、耕雲寺寺務所に運び込んだ事務机の片付けが、夜のお仕事として残っています。

最新記事
2017/08/21 なんのタマゴ？
2017/07/29 夜の森から、なぞの鳴き声
2017/07/04 梅雨空の夕焼け
2017/06/26 にぎやかな朝
2017/06/02 実山椒たわわ
2017/05/22 うめもぎっ子
2017/05/07 発見！ニホンカワトンボ
2017/04/25 キンラン・ホウチャクソウ・〇〇ベリー・・・花盛り (H29/04/25)
2017/04/16 春真っ盛り
2017/04/03 初蛙(3/29)

月別一覧
8月 2017年
7月 2017年
6月 2017年
5月 2017年

庫裏前庭の片付け、池の沈殿槽や循環槽の撤去、残っていた植木の片付け、庫裏への敷石・本堂への参道、駐車場塀やブロック土留めなどの解体、以上の仕事が終わり、整地作業も完了しました。

本堂や庫裏へ行く石畳は、原石の切れ端を拾ってきて、自ら敷いたもので、その後、檀家の有志の人たちと酸素バーナーで焼いて、濡れても滑らないように手を加えました。そんな石も廃棄物となってしまいました。

禅に、「没蹤跡」（もっしょうせき）という言葉があります。とかく、人は、「俺があれをやった。」「俺が面倒を見てやった。」などと言いたがり、自分の功績などを認めてもらいたいとかひけらかしたいとかいう思いを抱きがちですが、そんなものにとらわれるなというので、「没蹤跡」、痕跡を残すなと戒めています。厳しい修行の後に得られるお悟りさえも、悟後の修行でその臭みを消してしまえと言っています。

二台の重機が、蹤跡を消し去ってくれて、「本来無一物」にしてくれたということでしょうか。

【左】ホームページから
夕焼け空をバックにした市原別院耕雲寺の鐘楼です。

くい打ち工事(8月19日)

工事現場に、重機が３台入って、いよいよ杭打ちがはじまりそうです。

現場でコンクリートを練る機械でしょうか、高さ5メートルもありそうな円筒の機械や、コンクリートでできた杭が何本も運び込まれました。

一番大きな重機は、地中に杭を打ち込むものだと思います。

幼稚園の園舎を建てるときには、地盤がよかったので杭打ちをせずに済んだのですが、お寺の方の地盤調査をしたら、杭を打たなければならず、こんな大きな重機の出番となりました。園舎とわずかしか離れていないのに、地盤は調べてみないとわからないものなんですね。とはいえ、これで盤石な基礎ができることは間違いありません。

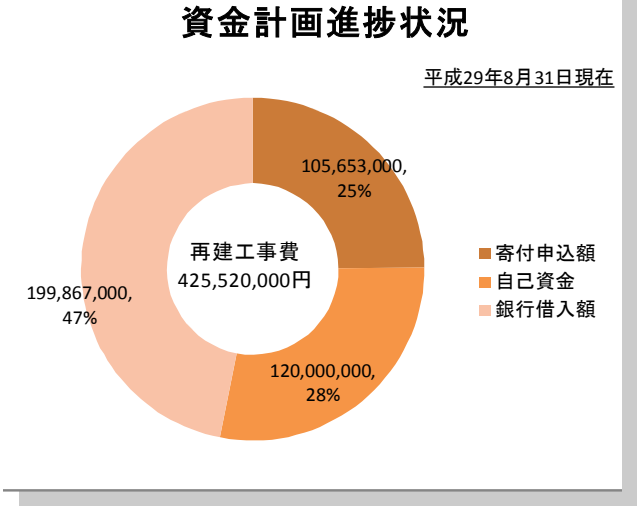
基礎工事はじまり(9月13日)

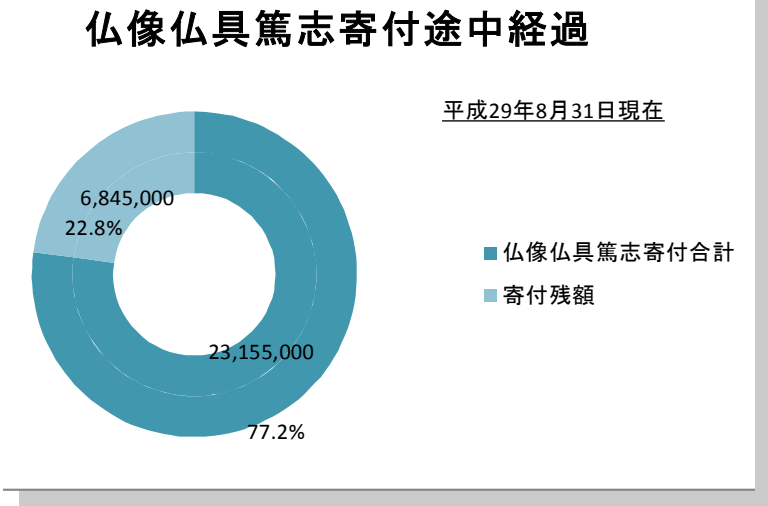
お彼岸前ですが、掘り残しの「ヒガンバナ」が満開です。

年によって、今年の「ヒガンバナ」は遅いとか、お彼岸に間に合うだろうかと心配することもありましたが、今年は解体・杭打ち・基礎工事と、重機が入って震動が多かったので「ヒガンバナ」も早めに咲いたのかもしれません。

工事の方は、杭打ちが終わって、周囲のブロック塀の解体も終わり、いよいよ基礎工事がはじまりました。敷地いっぱいに建物が建つために、基礎工事で掘った土を片付け片付けの作業のようです。

ご寄付の途中経過





修正予算書

圓福寺伽藍再建予算書

8/20現在

	項　　目	金額（円）
収入の部	圓福寺自己資金	103, 257, 000
	檀信徒寄付金	102, 263, 000
	本山互助見舞金	10, 000, 000
	住職篤志	10, 000, 000
	銀行借入金	200, 000, 000
	収　入　合　計	425, 520, 000

	項　　目		金額（円）
支出の部	工事費	共通仮設工事	11, 192, 400
		本堂新築工事	142, 156, 296
		書院・庫裡新築工事	151, 579, 449
		山門新築工事	13, 070, 511
		外構工事	16, 810, 787
		設備工事	51, 837, 100
		解体撤去工事	2, 453, 675
		諸経費	19, 500, 000
		計	408, 600, 218
		値　引	-38, 600, 218
		小　計	370, 000, 000
		消費税	29, 600, 000
		工事費合計	399, 600, 000
	設計・監理料		25, 920, 000
	支　出　合　計		425, 520, 000

上記のご寄付の途中経過は、8月31日現在のもので、左の予算書は8月20日のもので、寄付金の額に差があることをご容赦ください。

左記の予算書の通り、銀行借入は200百万円と決定し、役員会にて協議の結果、金利・手数料や取引実績などを考慮して、千葉銀行さんから借入することとなりました。（右の公告の通りです。）

現在、工事費の契約時支払分39,960,000円と設計・監理料の18,144,000円は支払済みで、総支払残額は367,416,000円となっております。

借入れについての公告

借入及び担保提供についての公告

宗教法人「円福寺」規則に定める手続きを経て、下記の通り、借入をすることになりましたので、宗教法人法第２３条の規定によって公告いたします。

平成29年9月1日

檀信徒各位

千葉市稲毛区穴川町375
宗教法人「円福寺」
代表役員　宮田　宗格

記

1　借入れる金額　　200百万円
2　借入れの目的　　宗教法人円福寺　本堂・書院・庫裡新築工事費
3　借入れの条件　　平成30年10月29日から元金均等返済（240回）
4　担保に供する財産
　担保　　千葉市稲毛区穴川町375番2　境内地
　　〃　　375番3　境内地
　　〃　　375番7　境内地
　　〃　　384番3　境内地
　　および本堂・書院・庫裡
　連帯保証人　　代表役員
5　借入れの相手方の住所氏名　千葉市中央区千葉港1-2　株式会社　千葉銀行
6　借入れの年月日　　平成29年9月27日

以上

お寺の掲示板に張り出した公告です。

本山への提出書類

◎書式３３号承認書下附願

「借入」に係る添付書類

1、理由書
2、責任役員会議事録
3、総代会等同意機関の同意書
4、借入に関する明細（返済方法）
　※金融機関作成の明細を添付することが望ましい
5、担保に供する建物の図面、土地なら土地謄本及び公図
6、目的事業の予算書
7、収支計算書（毎年所轄庁に提出するもの）

上記２部ずつ、ご提出の程お願い致します。
尚、１部は製本して御寺院様へ返却し、１部は宗務本所総務部にて保管します。この時１部をコピーにて対応される場合は、写しに原本証明をしてください。

以上

お寺が金融機関から借入をしたり、本堂を建てたりという財産の取得あるいは土地の売却などをする場合には、本山などそのお寺の包括団体の承認を得なければなりません。

伽藍再建に関してはすでに承認書をいただいておりますが、今回は金融機関からの借入に関しての承認書下付願を提出しなければなりません。その際の添付書類が右記の一覧です。

これ以外に、代表役員（住職）の連帯保証人就任承諾書が必要となります。

左が、圓福寺のホームページ画面です。

お寺の建物がないので、とりあえずトップページには大師堂の写真を掲載してあります。

「寺報」や「四国あるき遍路」、「再建だより」などの印刷物もPDFファイルで閲覧できるようにしてあります。

「圓福寺日記」や「市原別院日記」に載っている、つれづれの話題もご笑覧いただければ幸いです。また、再建工事の「現場だより」には、工事の進捗状況がわかるように更新に務めております。

もちろんスマホなどでも閲覧できるようにしてありますので、お気軽にアクセスしてみてください。

臨済宗妙心寺派　圓福寺

千葉市稲毛区穴川町375

電話：043（251）9181

FAX: 043（251）9549

電子メール：oshou@chiba-enpukuji.com

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：　http://www.chiba-enpukuji.com